

# させぼさん家の家計簿

収入		支出	
給料・基本給 (市税)	10.5万円	生活費	26.6万円
給料・諸手当 (地方交付税など)	12.1万円	食費 (人件費)	6.2万円
パート収入 (使用料など)	4.2万円	医療費 (生活保護などの扶助費)	9.8万円
親からの仕送り (国・県補助金など)	9.9万円	光熱水など雑費 (物件費、補助費など)	6.5万円
借金 (市債)	3.6万円	車などの修理代 (維持補修費)	0.2万円
貯金取り崩し (基金繰入金)	1.7万円	教育費 (教育費)	3.9万円
繰越金 (繰越金)	0.0万円	子どもへの仕送り (他会計への繰出金)	3.7万円
		借金の返済 (公債費)	4.9万円
		家や庭の建築、改修 (公共事業など)	3.8万円
		貸付など (貸付金など)	2.4万円
		貯金 (積立金)	0.6万円
合計	42.0万円	合計	42.0万円
※貯金残高	88.5万円	※借金残高	520.3万円



上表は、平成24年度一般会計当初予算を1年間の支出が約500万円(月42万円)の家計に見立てた家計簿です。基本給より諸手当が多く、諸手当に依存した家計になっています。節約努力と諸手当の上積み(合併算定替<sup>※1</sup>)などにより、ここ数年はわずかに貯金が増え、借金が減るといった傾向にあります。一方で、諸手当に対する依存度は年々増してきており、国などの事情により諸手当が削減されれば、わが家の家計も急激に傾くことが心配されます。残念ながら大幅に基本給が上がるということは期待できませんので、日々の儉約により支出を抑え、使うべきところにはしっかりとお金を使っていくことで、家族を守り、将来に希望を持った生活が送られるように努めていきます。

※1 合併算定替=市町合併後も、合併前を基準として普通交付税が5年間確保される国の制度

## 平成24年度主な事業・施策

### 【成長戦略プロジェクト関連事業】

●ハウステンボス再生支援事業	7億5114万円
●西海パールシーリゾート管理運営整備事業	2億5483万円
●多目的国際ターミナル整備事業	14億2894万円
●中国瀋陽市・韓国パジュ市職員派遣事業	320万円
●佐世保工業団地整備事業(同事業特別会計)	10億4053万円
●本土最西端(神崎鼻)公園整備事業	2300万円
●アメリカ・タウンミュージアム展開事業	1000万円
●第10回全国和牛能力共進会事業	9387万円

### 【安全・安心なまちプロジェクト関連事業】

●災害援護事業	2537万円
●自主防災組織育成事業	795万円
●救命救急センター整備事業(総合病院事業会計)	8億4075万円

### 【地域の絆プロジェクト関連事業】

●日宇地区公民館体育室建設事業	740万円
●徳育推進事業	500万円
●地域交通再生事業	1552万円
●市民協働意識啓発事業	226万円

### 【大型事業その他】

●住宅リフォーム緊急支援事業	1億2000万円
●学校給食センター(仮称)建設事業	3億4967万円
●保育所施設整備事業	3億5995万円
●東部スポーツ広場体育館(仮称)建設事業	3億1259万円
●長崎国体施設整備事業	5億9749万円
●栄・常盤地区市街地再開発事業	6億7610万円

◎財政課 ☎24-1111

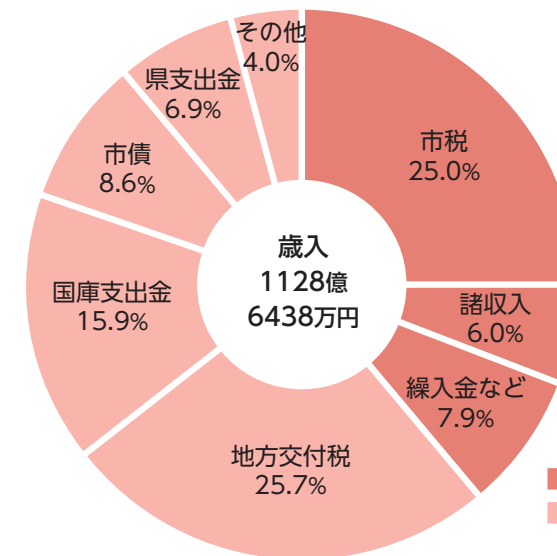
平成24年度  
当初予算

## 将来を見据えて改革を進めながら 地域活性化と財政健全化を両立!

平成24年度一般会計当初予算は総額1128億6438万円で、昨年度の実質的な当初予算(6月補正後)と比較し約1.7%減となりました。予算編成に当たっては、事務事業の見直しや業務の合理化などの改革を進めながら、地域活性化と財政健全化の両立を目指し、生活分野への財源を確保しつつ、企業立地や観光施策など重点政策へ財源の優先配分を行いました。

### 歳入

#### 歳入予算の構成比



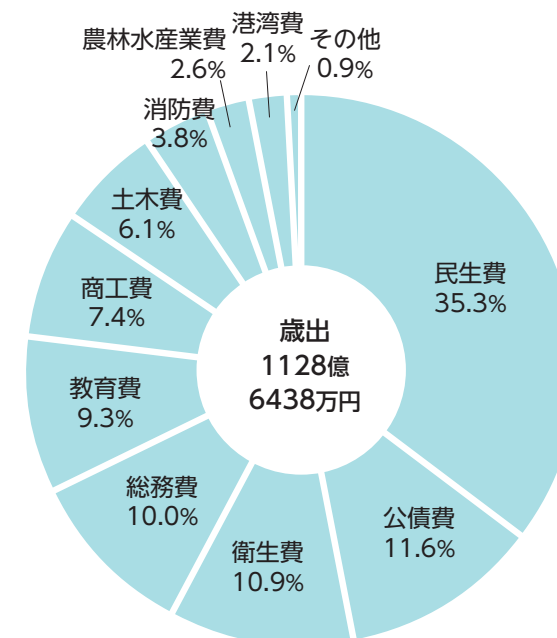
#### 市税の内訳

区分	平成23年度 (6月補正後)	平成24年度 (当初予算)	増減額
市民税	120億8479万円	123億2280万円	2億3801万円
固定資産税	124億6595万円	115億9450万円	△8億7145万円
都市計画税	20億6501万円	19億0917万円	△1億5584万円
市たばこ税	15億5200万円	18億2310万円	2億7110万円
軽自動車税	4億9768万円	5億1314万円	1546万円
その他	3457万円	3729万円	272万円
合計	287億円	282億円	△5億円

■ = 自主財源(地方公共団体が自主的に収入できる財源) 38.9%  
 □ = 依存財源(国や県から交付されたり、割り当てられたりする財源) 61.1%

### 歳出

#### 歳出予算の構成比



#### 主な増減理由

平成23年度 (6月補正後)	平成24年度 (当初予算)	増減額
1148億3650万円	1128億6438万円	△19億7212万円
主な増減理由		
①防災行政無線整備、小・中学校建設費など普通建設事業費の減		△13.4億円
②子ども手当など扶助費の減		△4.3億円
③市職員給与費、選挙関係経費など人件費の減		△3.9億円
④緊急・ふるさと雇用事業など物件費の減		△3.7億円
⑤財政調整基金積立金など積立金の増		5.5億円

#### 実質公債費比率の状況

平成21年度	平成22年度
13.8%	13.1%

実質公債費比率とは、標準的な収入に対する実質的な借入金の返済額の割合。数値が低いほど健全であると言えます。

【数値の目安】 0~25%未満→健全、25~35%未満→早期健全化団体、35%以上→財政再生団体